

私たちの声を国民へ！

私たちが国民の皆さんにお願いしたいことは、
難病や慢性疾患に苦しむ人もその家族も、障害のある人も、高齢の人も、総ての人が安心して暮らせる日本の社会を共に作っていききたいということです。

難病も障害もなりたくてなる人はいないと思います。
自分が思い描くような高齢者になるとは限らないのです。
人口の一定の割合で難病といわれる病気になると言われています。あなた自身や家族の誰かがなるかもしれません。
その時にもあなたとその家族が安心して医療を受け、住み慣れた地域で生活し、誰もが差別されることのない社会、偏見の目で見られることのない社会に住みたいと、私たちは願うのです。
できれば世界中の人たちも同じように安心して暮らせる社会でありたいと願うのです。

私たちはその社会を作るためにという、難病・慢性疾患全国フォーラムの趣旨に共感しました。
病気が違っていても、年齢が違っていても、住んでいる地域が違っていても、今日は全国各地からここに集まり、その共感を実感しました。

そして、明日はそれを誰かに伝えようと思います。
この社会を、難病患者も、障害者も、高齢者も、誰もが安心して暮らせる社会とするために、もっと多くの人たちの共感と共鳴が必要だからです。

私は、来年にはもう一人、友を誘ってこのフォーラムに参加しようと思います。

2018年11月17日
～誰もが安心して医療を受けられる社会を目指して～
難病・慢性疾患全国フォーラム 2018